

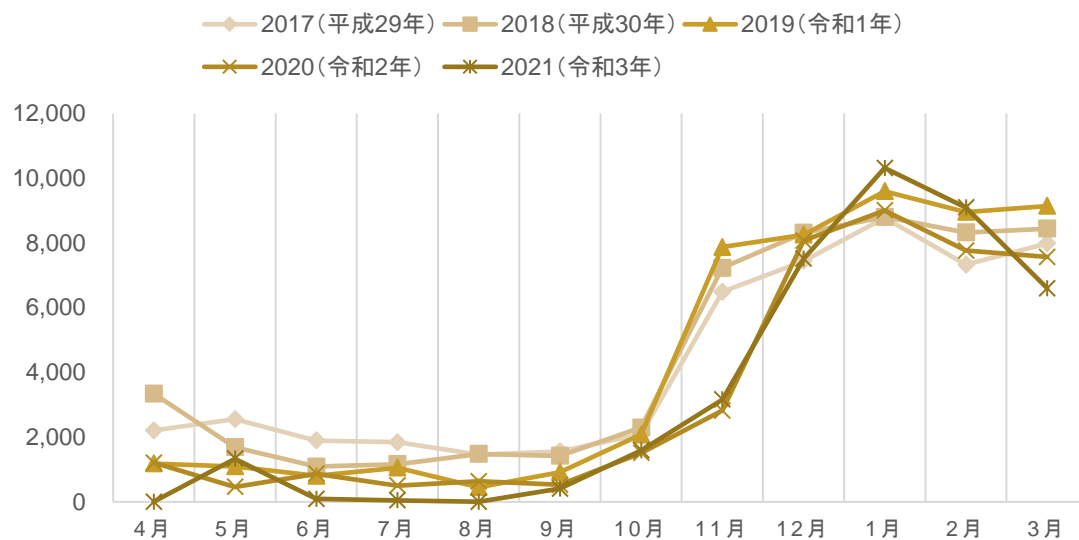
バイオディーゼル燃料の取組み事例紹介

事例の名称	B100燃料による蒸気ボイラー利用
実施主体	株式会社エコエルク豊頃工場
内容	B100を工場エネルギー用ボイラーで利用

【概要】

北海道の株式会社エコERC豊頃工場では、バイオディーゼル燃料を製造する際に必要な工場エネルギーは、蒸気ボイラーを利用しています。その蒸気ボイラーの燃料は、A重油代替としてB100燃料を使用しています。この蒸気ボイラーは、工場建設当初から15年間BDF100%で運転しており、トラブルもなく現在も順調に稼働しています。

暖房用ボイラーにおけるB100燃料使用量実績 単位:L




【その他特徴・効果など】

株式会社エコERC豊頃工場バイオディーゼル館では、北海道内から回収した廃食用油を原料に、バイオディーゼル燃料を製造しています。1日で最大3,600L(24時間稼働時)のバイオディーゼル燃料を製造することができます。

写真・概要図など



※B100は第4類第3石油類なのでA重油と同じ分類。近年は重油の値上がりのため、A重油代替としてのB100利用が注目されています。

MIURA		機種 EH-500F	製造番号 12604447
三浦工業株式会社	蒸気ボイラ	最大蒸発量 500 kg/h	燃料 E-OIL
		最高圧力 0.98 MPa	電源 200V 60Hz
		伝熱面積 7.60 m ²	製造年月 2002.05

写真上：蒸気ボイラー 写真下：ボイラースペック



写真：株式会社エコエルク豊頃工場
豊頃工場は厳冬期-20℃を下回日が1ヶ月以上あり、工場内から屋外タンク経路移送管も蒸気加温による凍結防止システムにしています。